

2019年7月3日

第一内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

## 「高齢者の総胆管大結石に対する内視鏡的大口径乳頭拡張術（EPLBD）と乳頭括約筋切開術（EST）の比較検討」への協力のお願い

第一内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2010年4月～2019年2月に当科において、総胆管結石治療を受けられた  
80歳以上の方

研究期間：倫理審査委員会承認日～ 2021年3月31日

研究目的・方法：

高齢化社会を迎え、高齢者の総胆管結石を治療する機会が増加しています。総胆管結石に対する内視鏡治療の際には、内視鏡的乳頭括約筋切開術（EST）が広く一般的に行われてきましたが、近年、内視鏡的大口径バルーン拡張術（EPLBD）の有用性や安全性に関する報告が散見されています。本研究では高齢者の総胆管大結石に対するEPLBDとESTの治療成績を比較検討することを目的とし、岐阜大学医学部附属病院、岐阜市民病院、岐阜県総合医療センターの多施設共同研究として、診療情報を後方視的に分析します。

研究に用いる試料・情報の種類：以下の情報を診療録より取得いたします。

年齢、性別、ECOG PS、併存疾患、結石径、結石数、胆管径、乳頭処置方法（EPLBD or EST）、傍乳頭憩室の有無、機械的碎石の有無、処置回数（初回完全採石率）、処置時間、入院期間、偶発症

外部への試料・情報の提供：匿名化されたうえで手渡しで提供を受ける

研究組織：

岐阜大学医学部附属病院 第一内科 研究責任者：岩下 拓司

岐阜市民病院 消化器内科 研究責任者：向井 強

岐阜県総合医療センター 消化器内科 研究責任者：岩田 圭介

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対

象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認および各研究参加施設の倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

### 研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び研究参加施設に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

### 連絡先

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸1番1 岐阜大学医学部附属病院 第一内科

担当：岩下 拓司 Tel：058-230-7537

Tel：058-230-6000（夜間・休日）

### 研究責任者

所属：岐阜大学医学部附属病院      第一内科      職名：臨床講師      氏名：岩下 拓司

### 研究代表者

所属：岐阜大学医学部附属病院      第一内科      職名：臨床講師      氏名：岩下 拓司